

寝返りをしやすくし、睡眠のリズムを一定に。

健康枕「ジムナスト」



ジムナスト

価格 本体：9,240円（税込）カバー：1,890円（税込）

問い合わせ：0568-23-0213

株式会社 Kitamura Japan

オフィシャルサイト：<http://www.kabu-kitamura.com>

オンラインストア：<http://www.gymnast.jp>

今回見つけたアイテムは、健康枕「ジムナスト」。睡眠中の寝返りの動きを徹底分析し、自然な寝返りを助けて熟睡を目指して開発された、まったく新しい健康枕だという。早速、枕のキタムラ、株式会社 Kitamura Japanを訪ねた。「今までの枕も仰向けでも横向きでも良いという商品はありましたが、仰向けから横向きに移動するときの身体の動きの部分まで考えられていないのでは、という

のが私たちの見解でした。そこで、「寝返りのしやすい枕」を作っているというコンセプトで、寝返り、寝姿勢が変わるということに対応できるような構造であることを重点的なポイントとして開発しました。仰向けから横向きに移動時枕にスロープの構造を持たせることにより、寝返りをしやすい構造にしてみよう。横向きになるときは、人はたいてい背中を丸めますので、仰向けの時よりも頭の位置は背中を丸める分下がりますので、形状として四角よりも、両サイドの部分を少し下に伸ばしたほうが寝返りのしやすさに特化した場合はフィットするであろうというところで考えたんです。素材にもこだわりました。異なる4種類のクッション材を、6つの区画に分けて配することで、快適さとスロープの構造を実現しました」と語る代表取締役社長の北村圭介氏。

後頭部部分には、仰向け寝の際に後頭部をやさしく支えるよう適度な弾力のあるポリエチレンのパイプ素材。首筋が当たる部分には圧迫を抑えながら、長時間使ってもヘタリにくいよう高密度ポリエステル綿を充填。両サイドには横向きで寝たときに寝違えを起さないよう高めに設定しているの

に加え、しっかりとした硬さのあのポリエチレンパイプを。後頭部を支える部分と両サイドの間には、スムーズな寝返りを助けるために、ゴムのような弾力あるコルマビーズという素材が詰められている。寝返りのしやすさを追求した形状と素材への強いこだわりがうかがえる。聞けば、素材へのこだわりは、機能面はもちろんだが、大正12年創業のなかで蓄積された、お客様の声を反映させたというから興味深い。ジムナストは長年、まぐらの研究を続けてきた枕のキタムラと、身体構造の研究を行っている岡山県立大学の産学共同で生まれた枕なのだ。

「寝返りをしやすいということはもちろん、お客様の意見として枕を洗いたい、という意見も頂きました。寝ているときに汗をかいて枕が汚れるという意識はあったんですが、例えば、そば殻の枕や低反発の枕だったら洗えないし、と、なかなか洗えない商品が多いと再認識しました。お客様の要望があるのならば、カバーだけでなく枕本体まで全部洗えるようにしてしまおうということで、化学製品のもので、乾きが早い素材をチョイスしたんです。その上で、硬さややわらかさなど、何種類も試

しまして、結果的に現在のカタチになりました」とも語る北村社長。ジムナストの魅力はカスタマイズできるところにもある。通常、低め、普通、高めと3種類の高さを用意しているが、普通よりももう少し高めが良かった、両サイドだけもう少し高めが良かったなど、細かく調整したいという要望があつたため、それに応えたカタチで高さ調整パッドも用意しており、個人個人に合ったMYジムナストを作ることができる。

「寝返りをするときは、眠りが浅いときと言われているので、浅い眠りのときに何か障害があると、起きてしまう場合もあります。起きてしまうと、睡眠のリズムが崩れてしまう可能性がありますので、朝起きたときに寝た心地がない、という睡眠に対する満足度が低くなる傾向もあります。寝返りをしやすい構造にすることにより、眠りが浅い時の障害を少なくするという狙いもあるんです」とも語る北村社長。

大正12年創業という歴史に培われた技術とノウハウ、そしてお客様の声を反映させて開発されたジムナストは、睡眠中という無意識の時間を、快適に過ごさせてくれるアイテムなのかもしれない。